

## 第 17 回建物・構築物検討会 議事録

1. 日時 平成 21 年 4 月 23 日 (木) 15 時 00 分 ~ 16 時 50 分
2. 場所 日本電気協会 4 階 C 会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
  - 委員: 久保主査 (東京大学), 北山副主査 (首都大学東京), 貫井幹事 (東京電力), 斎藤 (北海道電力), 尾形 (東北電力), 野口 (東京電力・赤瀬委員代理), 星野 (中部電力), 藤井 (北陸電力), 大友 (関西電力・伏見委員代理), 落合 (中国電力・高下委員代理), 細川 (四国電力), 宮嶋 (九州電力・船本委員代理), 平原 (電源開発・野口委員代理), 奥谷 (日本原子力発電・川里委員代理), 清水 (大林組), 福島 (鹿島建設), 小川 (清水建設), 森山 (大成建設), 大宮 (竹中工務店), 遠藤 (東芝・中島委員代理), 平子 (日立 GE コーポレーション), 吉賀 (三菱重工業) (計 22 名)
  - 欠席: なし
  - 常時参加: 土井 (新潟大学) (計 1 名)
  - 傍聴: 杉山・寺山 (東京電力), 松尾・藪内・秋岡 (鹿島建設), 井原・間瀬 (東電設計), 渡辺・高倉 (大成建設), 藤田 (清水建設), 田中 (大林組), 鬼丸 (竹中工務店) (計 12 名)
  - 事務局: 糸田川 (日本電気協会) (計 1 名)
4. 配布資料
  - 資料 17-1 第 16 回建物・構築物検討会議事録 (案)
  - 資料 17-2-1 JEAC4618 「鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程」制定案に関する書面投票の結果について (日電協 21 技基第 014 号/原子力規格委員会)
  - 資料 17-2-2 鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程(案) (JEAC4618-200X) に対する規格委員会書面投票意見及びその対応 (案)
  - 資料 17-2-3 鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程 (JEAC4618-200X) 修正案
  - 資料 17-3-1 JEAC4616 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術規程」(制定案) に関する書面投票の結果について (日電協 20 技基第 752 号/耐震設計分科会)
  - 資料 17-3-2 JEAC4616 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術規程」(制定案) に関する書面投票における委員の意見への回答
  - 資料 17-3-3 JEAC4616 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術規程」(制定案) に関する書面投票における委員全員の意見 (「反対」「保留」「その他」) を含む投票内容と回答
  - 資料 17-3-4 乾式キャスクを用いる使用済燃料中間貯蔵建屋の基礎構造の設計に関する技術規程 (JEAC4616-20XX) 制定案
  - 参考-1 第 32 回原子力規格委員会議事録 (案)
  - 参考-2 第 34 回耐震設計分科会議事録 (案)
  - 参考-3 委員名簿

## 5. 議事

### (1) 会議定足数の確認

事務局より、代理出席者7名が紹介され、規約に基づき久保主査の承認が得られた。また、代理出席を含めて全委員出席であることを確認した。

### (2) 前回議事録の確認（資料17-1）

事務局より、前回議事録（案）が読み上げられ、正式議事録とすることを確認した。

### (3) JEAC4618-200X「鋼板コンクリート構造耐震設計技術規程」制定案に対する原子力規格委員会書面投票における保留意見、その他意見への対応について（資料17-2-1,2,3）

事務局が資料17-2-1に基づき原子力規格委員会書面投票結果を紹介した後、奥谷氏（日本原電）より、資料17-2-2,3に基づき、建物・構築物関係の意見とその対応案の説明が行われ、審議した。

その結果、一部修正し、5月15日の耐震代表幹事会に諮ることとした。

#### （修正箇所）

- ・資料17-2-2 1頁の対応案の「JEAC4601」の記載は、年版を付記する必要がある。
- ・資料17-2-3 2.2.1.2 応力解析（3）項の、温度荷重により発生する熱応力を評価する場合に考慮する方法を記載した部分は、a,b,cの3方法を併記するのではなく、a,cの2方法の併記とし、bの方法はaの方法の中の特殊な場合となるように記載を見直す。資料17-2-2 1頁の対応案もそれにあわせて見直す。
- ・資料17-2-2 1頁の対応案の「解図に、スタッドピッチ（B）を追記します。」の“B”の字体はイタリック体（斜体）とする必要がある。機器・配管系検討会に連絡のこと。
- ・同上 1頁の「SC構造としての許容応力度はどこに記載しているか。」の意見に対する対応案の記載内容の前半は不要。後半部分に記載している回答でよい。

### (4) JEAC4616-20XX「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術規程」制定案に対する耐震設計分科会書面投票における反対意見、保留意見、その他意見への対応について（資料17-3-1,2,3）

事務局が資料17-3-1に基づき耐震設計分科会書面投票結果を紹介した後、杉山氏（東京電力）より、資料17-3-2,3,4に基づき、意見対応案について説明が行われ、審議した。

その結果、以下の修正および追加コメント対応を実施の上、5月15日の耐震代表幹事会に諮り、可能であれば5月22日の第35回耐震設計分科会に再提案することとした。（追加コメントは5月8日までに事務局又は貫井幹事までに連絡）

#### （修正箇所等）

- ・資料17-3-4の第1章 適用範囲(2)：“・・・による。改良地盤は、・・・” “・・・により、改良地盤は、・・・”
- ・同上コード第1編1-3頁下10行目：“・・・（以下、「JEAC4601」という）・・・” “・・・（以下、「JEAG4601」という）・・・”
- ・同上コード第1編1-3頁上3行目：“貯蔵建屋安全審査指針” “貯蔵施設安全審査指針”
- ・同上頁下3行：“本規程”は略称ではないので、削除する。
- ・資料17-3-4コード第2編2.3-4頁の（2.3.2-4）式の一番左辺の分母の添え字は、bではなく、cではないか。

### (5) その他

次回（第18回）の検討会開催日程については、今後の進捗状況によることとした。

以上